

埴輪のヒミツ

皆さんが博物館などで目にする埴輪にはヒミツがあります！

実は、1400年以上前に作られた埴輪のほとんどが表紙や写真のように碎けて欠片になった状態で見つかります。

これまでの研究成果をもとに、見つかった欠片を接着剤や石膏などでくっつけることで埴輪を復元しています。



埴輪の出土状況



こんな風に復元しています

埴輪観察のポイント

【その1】

埴輪を観察する時は人物埴輪の服装や埴輪で表現されているアクセサリーを見てみましょう。

【その2】

円筒埴輪を見る時は大きさに注目してみてください。大きい円筒埴輪は大きい古墳に並べられていることが多く、円筒埴輪から古墳の大きさを想像することができます。

【その3】

埴輪のどの部分が復元されていて、どの部分が復元されていないのかを考えてみましょう。特に色の違いに注目するとわかりやすいかもしれません。

以上のポイントで埴輪を観察することができれば、
あなたも「はにわ博士」になれます！

はにわ博士からのメッセージ

神川町では、中央公民館文化財展示室で埴輪を展示しています。神川の埴輪を実際に見て、他の自治体の博物館などで展示されている埴輪と見比べてみましょう。まず初めに、お隣の本庄市や川向こうの藤岡市との違いを探してみるのはいかがでしょうか。



はにわ博士

埴輪からわかること

人物埴輪からは髪型や服装の他、イヤリングやネックレスが表現されているモノがあり古墳人のオシャレを知ることができます。また、馬形埴輪からは馬が付けていた馬具の種類、家形埴輪からは古墳人が生活していた家の形など、埴輪からは古墳時代のさまざまな情報を得られます。

文献などの文字資料が残されていない古墳時代のことを教えてくれる存在が埴輪です！



イヤリングをつけている
人物埴輪



ネックレスをつけている
人物埴輪



古墳時代のイヤリング



古墳時代の
ネックレス

神川の埴輪はどこで作られたの？

私たちの町からたくさん見つかる埴輪ですが、実はどこで作られたのかは明らかになっていません。

神川町の周辺では現在、マリーゴールドの丘として親しまれている本庄市の宥勝寺裏埴輪ゆうしょうじ窯跡や群馬県藤岡市にある本郷埴輪窯跡ほんごうなどがあります。藤岡市から見つかる埴輪と神川町から見つかる埴輪は同じような製作技術で作られていることから本郷埴輪窯跡が候補地としてあげられます。

将来、神川町からも埴輪を作った遺跡が見つかるかもしれません。